

2016年7月10日(日)

青木 靖

みことばの感動・・・ 使徒の働き 8章 25節～40節

1. 「みことば」はすぐ近くにある・・・神様の声(アレンジ)に気づく

使徒の働き 8:26 主の使いがピリポに向かってこう言った。

「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい。」(このガザは今、荒れ果てている。)

ローマ 10:8 「みことばはあなたの近くにある。あなたの口にあり、あなたの心にある。」これは私たちの宣べ伝えている信仰のことばのことです。

2. 「みことば」を求める人を放っておかない・・・みことばと格闘する

8:27 エチオピア人の女王カンダケの高官で、女王の財産全部を管理していた宦官のエチオピア人がいた。彼は礼拝のためエルサレムに上り、
8:28 いま帰る途中であった。彼は馬車に乗って、預言者イザヤの書を読んでいた。

詩篇 42:1 鹿が谷川の流れを慕いあえぐように、神よ。私のたましいはあなたを慕いあえます。

3. 「みことば」の感動・・・声に気付き、求めるときにおこること・・・

8:39 水から上がって来たとき、主の霊がピリポを連れ去られたので、宦官はそれから後彼を見なかったが、喜びながら帰って行った。

ヘブル 4:12 神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。

グループディスカッション

1. あなたの好きな言葉はありますか？(聖書の言葉以外でも・・・)
近くにある「みことば」を見つけるどんなアイデアがありますか？
2. 「みことばと格闘する」とはどういうことか考えましょう。
そのような経験がありますか？
3. あなたの「みことばの感動」の話を聞かせてください。
(デボーションノートをお勧めします)